

6大学BIG BAND連盟結成記念

# BIG BAND CONCERT

1966.10.14



産経ホール



## ごあいさつ

本日はお忙しい中を御来場いただき、誠に有難うございます。

このたび催されますこのビッグ・バンド・コンサートは、常に催されております学生の軽音楽コンサートでは、なかなか不可能と考えられておりましたビッグ・バンドだけを一堂に会してのコンサートであります。

これは、私共、学生ビッグ・バンドを研究する者にとって、以前よりの念願でもありました。この念願が、今回ビッグ・バンド連盟結成を機に、毎年催される事となりました事は、この上ない喜びでございます。

今回は、本日出演のバンドだけでございますが、行く行くは、全国のビッグ・バンドに声をかけて加盟していただき、コンサートを催したい意向でありますので、今後ともよろしくお願い致します。

何分にも、学業のかたわら練習し、今回のコンサートを企画致しましたので、お聴き苦しい点、行き届かぬ点が、多々有ると存じますが、学生バンドとしてのプライドと誠意を以つて、力一杯演奏致しますので、最後までよろしくお願い致します。

今回に限らず、来年、さ来年とこのコンサートが催されると思いますので、皆様方の忌憚のない、御意見、御支援と御指導をお願い致します。

尚、今回のコンサートを催すに当って、惜しみなく御助力、御指導下さいました関係各位の皆様に、連盟一同と共に心から感謝申し上げます。

理事長 小林 隆 昭

主催 六大学ビッグバンド連盟・協力山野楽器店



# 六大学ビッグ・バンド連盟結成まで



かつて花はバラバラに咲いていました……………

学生音楽団体が、目覚ましい活躍を見せている昨今であるが、各大学の Big Band が一堂に会する機会は、かつてないことであった。互にその名称や演奏内容は知っているにも拘らず、親しく接する機会のなかったことは、非常に残念な事であった。

このような状況で、東京にある Big Band サークルだけでも集合し、“演奏による交歓の機会をもつ”ということは、長年の念願となっていたのであった。

昭和 40 年 9 月、早稲大学ハイソサエティー・オーケストラより、早稲田祭を利用して、「校内にステージを設置し、そこに六大学の Big Band を招待、共同演奏を行う」というプランが提出された。これを機会として各校の Big Band 幹事が集合、全面的にこの企画に対して協力することを約束した。

昭和 40 年 11 月、この企画を練り続けた結果、11 月 21 日が演奏当日と決定された。

早稲田祭の中でも、最も規模の大きい催物として、その成果について、周囲から注目されたのであった。

11 月 21 日当日、早稲田祭のムード、盛上った記念会堂前に、続々と集合した六つの Big Band は……



法政大学	ニューオレンジ・スウィング・オーケストラ
明治大学	ビッグ・サウンズ・ソサエティー
日本大学	リズム・ソサエティー・オーケストラ
中央大学	スウィング・クリスタル・オーケストラ
慶応大学	ライト・ミュージック・ソサエティー
早稲田大学	ハイ・ソサエティー・オーケストラ

の面々であった……

聴衆用に準備したイス数は、約 2,000、開演は 1 時の予定であったが、満員の観客にせかされる如く、開演 30 分前、中大スウィング・クリスタルの演奏により、この演奏会の幕が切って落された。中央、法政、明治、慶応、日大、早稲田の順で、次々に熱演が展開、ラテンとスウィング、モダンジャズが、広場



に充滿し、そのダイナミックな規模は、聴衆を魅了するに充分なものと思われた。

4時30分、最後の演奏が終了すると同時に、心からの声援を受けつつ、この催しの幕を閉じた。



この後、各バンド幹部会が開かれ、“大学 Big Band 連盟”結成の案が発起された。

全国各地の大学に所属する Big Band に呼びかけ、将来、演奏技術の向上、学生音楽団体の在り方、そして各校間の親睦をはかるという連盟主旨にそった活動を目指した。

昭和41年、理事長、副理事長等、組織と人選が決定。第1回の連盟コンサート開催を決定、日時10月14日、計画、準備に奔走……そして今日、その日を迎えた訳である……。

### 連盟結成に際して大橋巨泉氏のことば

六大学といったって野球ばかりじゃない。音楽的にも各大学が集って研究したり、批判しあったりするのはいいことだと思う。こうした活動は音楽ばかりでなく、チームプレイを通じて得る連帯意識の醸成という点で大いに賛成だ。大学生なら大学生らしく、スポーツばかりでなく、芸術的な活動で横のつながりがあるべきだと思っている。毎年、大学のバンドの技術が上って来ているのを、この耳で知ってうれしい限りだが、ただ技術がうまいだけでなく、もっとオリジナルな面で成長して欲しい。この会が、そうした面でのプラスになればうれしいと思う。

#### 今日の出演バンド

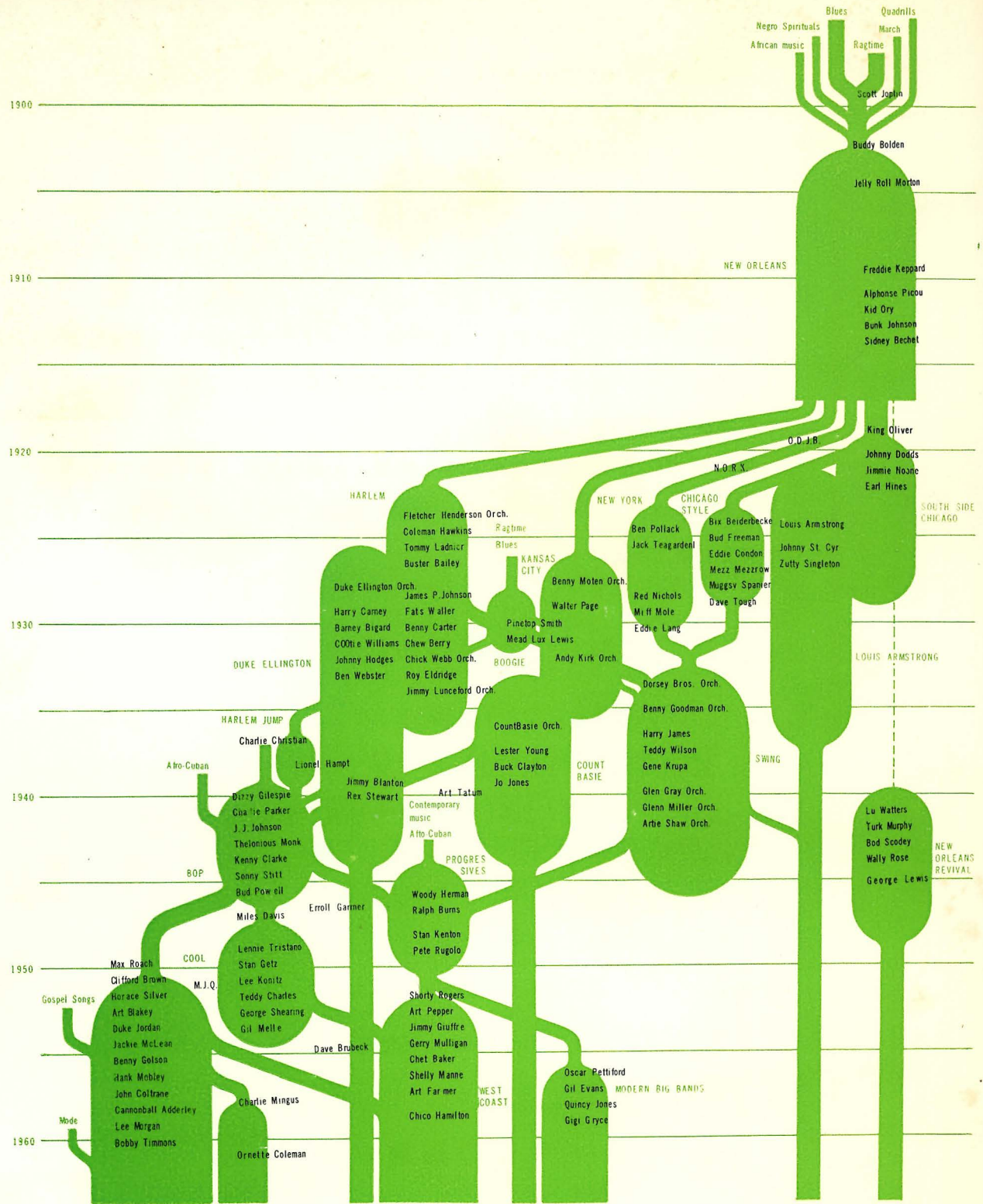
— 順 不 同 —

ニュー オレンジ スウィング オーケストラ	(法 政 大 学)
慶応 ライト ミュージック ソサエティー	(慶 応 大 学)
スウィング クリスタル オーケストラ	(中 央 大 学)
リズム ソサエティー オーケストラ	(日 本 大 学)
ハイ ソサエティー オーケストラ	(早 稲 田 大 学)
ビッグ サウンズ ソサエティー	(明 治 大 学)
K. M. P ニューサウンド オーケストラ	(慶 応 大 学)

司 会 い ン ノ て る ヲ



# JAZZ STREAM



ジャズは約60年の歴史の中で非常に複雑な展開をしてきました。これを時代とスタイルによって分類すると、上のような図式になります。

(野口光氏, 和田誠氏による。グラフィック・デザイン, No.3 より)

マスのそれぞれのスタイル——主として地域的な特徴をあらわし、それ等を結ぶ線は影響、あるいは人物の移動を表わしています。人名、楽団名はその属している位置に記しました。時代によってスタイルを変える人も多いのですが、煩雑さを避けるため1人1個所にとどめ、アームストロング、エリントン、ベイシイの3人は特に重要な存在と思われるので、それぞれ1つのマスをとってあります。ビッグ・バンド・ジャズの性格として、それ以外の部分については省略してあります。

1946年(昭和21年)敗戦を境として日本にアメリカの文化が押し寄せ始めた時期にはグレン・ミラー、レス・ブラウン、アーティ・ショーなどの楽団の演奏がW. V. T. R(現在のFENの前身)から毎日のように流れていました。その頃の我国のビッグ・バンド・サウンドもそれ等の影響によって、ダンス・スタイルのものを多く採り入れていました。編成は3Pet, 3Bone, 4Sax, 4Rhythm位でやったり、又ピック・アップのコンボもかなりやっていました。そのころすでにアメリカではスウィング・バンドは衰退の時期にさしかかっていました。その代りに“Bop”



と呼ばれる新しいジャズがニューヨークの黒人街の一角ハーレムで黒人プレイヤー達によって誕生しました。これが一般にモダン・ジャズの源といわれていますが、これが前進を求める白人ミュージシャンにも受け入れられるようになりました。プログレッシブ・ジャズと云われるビッグ・バンドが今までのスウィング・ダンスバンドのワクを越えた、モダン・サウンズをともなって登場して来ました。ウディ・ハーマン、スタン・ケントンなどです。

戦後の混乱も1950年頃になると安定期にはいって、“Bop”の先が見えて来ました。編曲を用いないでユニゾンのリフとインプロヴィゼーションのみで構成されるように類型化していったからです。そこに現われたのがクール・ジャズと云われる、新しいスタイルです。これはウエストコーストのミュージシャンに受けつがれました。先にものべました、ウディ・ハーマン、スタン・ケントンの両楽団はこれ等をどんどん吸収して人気を高めるにつれて、アメリカ中を演奏旅行するようになるのです。旅がらす的な生活を望まないミュージシャンは、ロス・アンジェルスにとどまり、映画音楽の仕事や（ハリウッドのそばです）クラブなどの仕事を行なって安定した生活を送るようになりました。ジャズ界はウエスト・コースト・ジャズに塗りつぶされた感がありました。しかしこの全盛をほこったウエスト・コースト・ジャズも1957年頃から急速におとろえはじめました。(1)このジャズが白人を主にしたモダン・ジャズであったため、音楽的な教養を身につけたその旺盛な探究心はしばしばジャズの本質からはなれた実験を行なうようになりました。作品の質は決してつまらないものではありませんでしたが、ジャズ・ファンの多くが賛意を表しませんでした。(2)彼等のジャズが大衆にひろく愛好されるにしたがって、もうひとつの欠点があらわれました。商業化です。商業（商業）ミュージックとリアル・ジャズは本来異なるもので、非芸術と芸術の差があるも



のなのです。この2つが大きな理由です。ムード・ミュージックと区別つかないぬるま湯のようなジャズの出現にあくびをかみ殺していたファンが、なにげなくイースト・コーストに眼をやった時、貧苦と戦いながら腕をみがいていた黒人ソロイストの成熟した姿をみだしたのでした。ウエスト・コースト・ジャズの根本的な欠陥であるすぐれたアドリブ奏者の不足が、イースト・コースト・ジャズに於てはまったく見られませんでした。セロニアス・モンク、ソニー・ロリンズ、マイルス・デヴィスなどが中心となってイースト・コースト・ジャズの再興が成ったのです。このときあらわれたのがイースト・コーストのメンバーを集めて、そのインプロヴィゼーションのうまさと独自の編曲手法を用いたクインシー・ジョーンズ楽団です。彼はモダンジャズのリフを使ってその卓越した手腕と才能をもって、ビッグ・バンドのホープとなりました。この傾向は、ビッグ・バンド全体に大きな影響を与えました。カウント・ベイシイ楽団などもメンバーを充実して、次第にモダン・バンドに変わりました。スタン・ケントンのハイ・ノートヒッターとして鳴らしたメイナード・ファーガスンも自分のビッグ・バンドを持ちます。ハリー・ジェイムス楽団もスウィートなスタイルを一新して黒人アレンジャーのアーニー・ウイルキンスを起用しました。このようにジャズ・ビッグ・バンドはモダン・ジャズを軸とした陣容に変化しているのです。

#### いソノてるヲさんのこと

#### 本名 磯野 晃雄

昭和24年、慶応大学法学部に入学し、間もなくライト・ミュージック・ソサエティーに入り、ドラマーを志しましたが途中で断念し、牧芳雄氏の門下として評論家修業に転じ卒業後、いソノてるヲというペンネームでジャズの評論界にデビューしました。現在は、自由ヶ丘に“5スポット”というジャズ喫茶を経営するかたわら、コンサートの司会に、或いは新聞、ジャズ専門誌をはじめ種々の書籍に寄稿するなど忙しい日々を送られています。



# HIGH-SOCIETY ORCHESTRA

(早稲田大学)



## ■ プロフィール

私達ハイ・ソサエティー・オーケストラは改名以来11年目を迎え、新たな気持ちをもって、次の段階への飛躍を期しております。最近に於いては、カウント・ベイシー、デューク・エリントン等の黒人ジャズバンドのみならず、ハリー・ジェイムス、ウディー・ハーマン、テッド・ヒース等の白人バンドのスウィングをも追求、研究しております。又ラテンに於いても常に学生バンドのトップをいくものとして、日夜練習を積み重ねております。

今後とも宜しく御願ひ致します。

## ■ 曲 目

- I BLUES BACK STAGE
- II EXODUS
- III WATER MELON-MAN
- IV EL KUNBAN CHERO

## ■ メ ン バ ー

Trumpet	由地 信太郎 (商 4)	Saxophone	上田 義之 (商 4)	Guitar	杉村 康夫 (文 3)
	田島 知造 (商 3)		下岡 勇夫 (理 4)	Latin	伊佐早 佑二 (政 4)
	尾崎 国昭 (法 3)		山下 善彦 (政 3)		工藤 史郎 (法 4)
	真山 隆夫 (政 3)		根本 健治 (政 4)		山田 義夫 (文 2)
	池 昌夫 (法 3)		斉藤 真一 (商 2)		木下 昭男 (法 2)
	(Concert Master)		谷田部 達三 (法 1)	M.C.	富井 邦明 (商 4)
Trombone	市浦 靖 (理 3)	Drums	(Band Leader)		
	平子 勝昭 (商 3)		菅原 昭二 (文 3)		
	斉藤 文三 (商 2)	Piano	鈴木 三世子 (文 2)		
	飯田 次郎 (政 1)	Bass	井口 福彦 (政 4)	Manager	船倉 良之 (法 3)



# SWING CRYSTAL ORCHESTRA (中央大学)



## ■ プロフィール

17名編成(5Sax, 4Tb, 4Tp, Piano, Bass, Guitar, Drums)  
 の当バンドのメンバーは、全て吹奏楽部部員の中でジャズに興味がある者によって編成されております。そのため吹奏楽部と一体となった演奏活動が多く、当バンド独自の活動は最近になってやっと活発になってきました。当バンドのダイナミックなサウンド、学生らしい演奏ぶりは評論家諸氏より認められています。これからも当バンドはクインシー・ジョーンズ、カウント・ベイシー等のモダン・ビッグ・バンドを目指し、学生の立場からジャズを研究すると共に、一方サークル活動に参加することによって対人関係を学び、趣味を伸ばして豊かな学生生活を送るべく努力しております。これからも宜しくお願い致します。

## ■ 曲 目

- I HAPPY FACES
- II ROBOT PORTRAIT
- III DARK EYES
- IV MANTECA

## ■ メ ン バ ー

Saxophone	神山 誠(法3)	Trumpet	田辺 幸雄(経3)		田島 康雄(法1)
	佐藤 秀也(文2)		作田 雄一(経3)		萩原 義高(理1)
	玉井 俊行(文2)		藤本 善久(経3)	Piano	和田 守義(理4)
	柏木 証藏(文4)		佐藤 真夫(商1)	Guitar	森田 憲司(経3)
	大河原 三雄(経3)	Trombone	吉田 和弘(理4)	Drums	山内 成将(理4)
	横川 尚幸(商2)		加々見 仁(法3)		有賀 宏(経3)



# K.M.P. NEW SOUND ORCHESTRA (慶応義塾大学)



## ■ プロフィール

私達 K.M.P ニュー・サウンド・オーケストラが生まれてもう6年目になりました。幾多の辛苦を味わいながら現在に到り、一昨年の秋には慶応義塾大学文化団体連盟に加入し、毎年秋の定期演奏会を始めとして、春夏には休暇を利用して演奏旅行その他種々の演奏活動を行っております。

昨年は TBS 主催「全国大学 対抗バンド合戦」に入賞し、名実ともに慶応義塾大学が誇るフルバンドとして若さと活気に満ちた演奏活動を行っております。又、私達は只演奏するだけでなく演奏活動を通じて人格の陶冶、精神の練磨、部員相互の親睦を計ることを目的として練習し、相まって技術向上を計っております。私達のレパートリーは広くラテンからスウィング、モダンジャズまで含んでおりますが、特にカウント・ベイシー、クインシー・ジョーンズのもので得意としております。どうぞこれからのひととき、部員一同の熱の入ったジャズ演奏を、からだ全体で心ゆくまでお楽しみ下さい。

## ■ 曲 目

- I COMING HOME BABY
- II A TASTE OF HONEY
- III PEOPLE
- IV NIGHT IN TUNISIA

## ■ メ ン バ ー

Trumpet	川 瀬 一 雄 (商 4)	Saxophone	栗 原 敏 夫 (法 4)	Guitar	後 藤 静 司 (商 3)
	戸 田 宏 (商 3)		中 野 金 弥 (経 3)	Latin	小 原 正 一 郎 (政 4)
	渋谷 高 弘 (商 3)		山 口 真 文 (政 2)		芳 賀 邦 彦 (法 3)
	星 野 宏 明 (商 3)		佐 藤 悦 郎 (法 2)		鈴 木 礎 夫 (文 2)
Trombone	鈴 木 満 武 (経 4)		中 山 宗 之 (商 2)		梅 田 謙 五 (経 2)
	小 松 康 裕 (商 3)	Drums	竹 島 達 修 (政 4)	M.C	麩 奉 邦 (政 3)
	米 山 健 次 郎 (商 2)	Bass	河 村 政 隆 (商 4)	Manager	山 田 哲 也 (商 3)
	前 田 新 造 (文 1)	Piano	大 庭 直 樹 (商 4)		麩 奉 邦 (政 3)



# BIG SOUNDS SOCIETY

(明治大学)



## ■ プロフィール

私達明治大学 Big Sounds Society は今年で満6歳でございます。

結成以来G.ミラー, T.ドーシィ, H.ジェイムス, B.グッドマン, L.ブラウン, W.ハーマン, S.ケントン, Q.ジョーンズ, C.ベイシー他, 年々レパートリーを広げてまいりました。

現在私達はフル・バンド界においてD.エリントンと双壁をなすC.ベイシーのバンドをアイドルとしております。私達はJazzの持つ「何か!」を探求しようとしております。

今日会場の皆様に数曲からその気持ちを感じていただければ幸いです。

## ■ 曲 目

- I EYES
- II IT'S SAND-MAN
- III MR. X
- IV BEGIN THE BEGUIN

## ■ メ ン バ ー

Saxophone	佐藤和良(営4)	伊沢宣興(政4)	中山喜弘(工2)
	境恒夫(経3)	林 顕(法4)	Drums 木沢宏一(経3)
	下平富弥(商4)	上野達也(営2)	Guitar 岡 憲彦(営4)
	高橋一郎(商3)	Trumpet 高柳昇(工3)	Piano 山岸和子(文4)
	五十井篤則(文1)	荒井正興(商2)	Bass 福江義史(法3)
Trombone	千賀泰洋(経4)	竹内清(工1)	Manager 下平富弥(商4)



# RHYTHM SOCIETY ORCHESTRA (日本大学)



## ■プロフィール

結成以来15年を迎えた我が日本大学軽音楽部リズム・ソサエティ・オーケストラは、その間幾多の荒波を乗り越え今日20名を越えるフルバンドに成長してまいりました。昭和26年リズム・ソサエティ・オーケストラの前身であるタンゴバンドとして発足し、数年間学校の公認のもとに華々しく活躍しておりましたが、昭和31年時代の流れと共に中南米音楽の開拓を志し、弦楽器に管楽器を加えた変則的な編成のバンドに生れ変わり、名称もリズム・ソサエティ・オーケストラとなり、この第一期リズム・ソサエティは文化放送主催「大学軽音楽リーグ戦」に於て、三度も優勝致しました。その後革命的な変化で、ダンス楽器を主体に、ラテンリズムを加えた5サキソホーン、4トロンボーン、4トランペットのビッグバンドに鞍替えし、現在東京に於ても学生バンド唯一の、ラテン音楽を主体としたキューバンスタイルのオーケストラです。今やリズム・ソサエティ・オーケストラは全国の学生バンドファンの皆様に強烈なラテンリズムの醍醐味を満喫して頂くべく精進致しております。

## ■曲目

- I SUNNY LEI
- II DISAFINADO
- III CUBA
- IV MARAGANIA

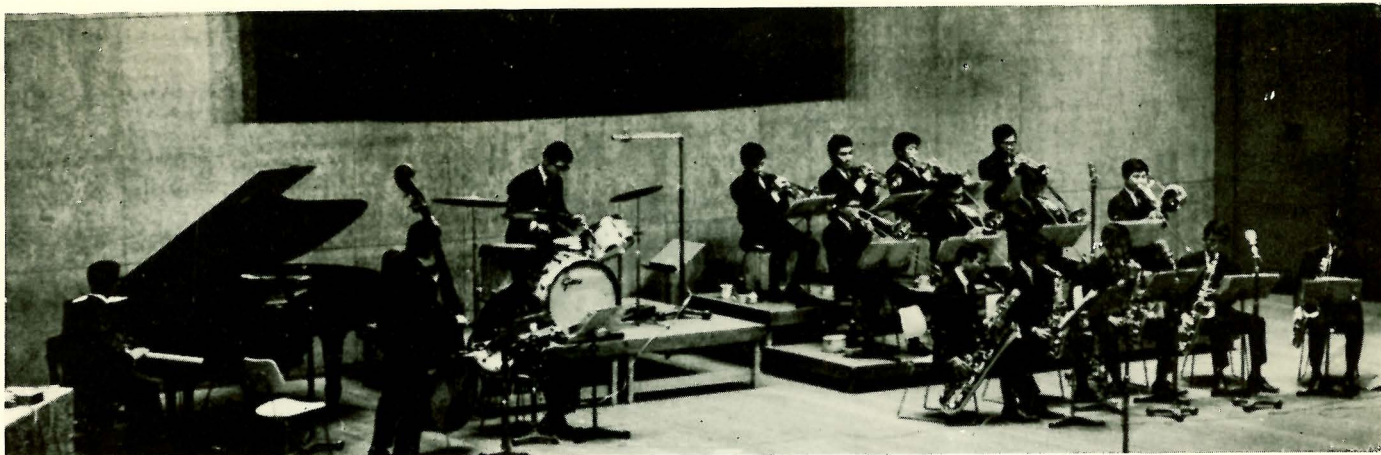
## ■メンバー

Saxophone	小林 博 (商3)	Drums	小西 潔 (理2)		額賀 彰 義 (経2)
	河合 太郎 (法2)		(Concert Master)	Guitar	豊島 守 (経3)
	菅野 勝之 (商3)	Trumpet	熊谷 秀 臣 (商3)	Bass	大槻 鋼 司 (経3)
	金田 邦 通 (文3)		十八日 義 雄 (理3)	Piano	竹中 征 帆 (文2)
	楯賀 建 雄 (法2)		田中 弘 司 (法2)	M.C	安田 立 和 (文4)
Bonga	(Auditor)		国友 忠 (商2)		
	中島 章 喜 (文4)	Trombone	(Band Leader)		
Conga			鳥越 剛 生 (経3)		
	河口 健三郎 (経3)		石川 義 隆 (商3)		
Maracas			相田 昌 弓 (商3)	Manager	菅野 勝 之 (商3)
	小沢 明 彦 (文2)				



# KEIO LIGHT MUSIC SOCIETY

(慶応義塾大学)



## ■ プロフィール

慶応義塾が誇るビッグバンド——“KEIO LIGHT MUSIC SOCIETY”は、戦後他校に先がけて、昭和20年に結成されて以来20年の歴史を有し、その間“*You Belong To My Heart*”のテーマとともに成長して参りました。文化団体連盟に於いても最も代表的な団体のひとつとして塾内外の演奏会、春、夏期休暇を利用しての全国各地への演奏旅行等に活躍し、スマートで活気に満ちたエネルギーギッシュな演奏は各方面で多大な好評を得ております。今後とも、そのレパートリーをスウィングからモダンジャズへと拡げて行き、学生らしい真面目な態度を以って、より良いジャズの研究と発展に努め、皆様の御期待にそいたいと思っております。今日のコンサート、どうか最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

## ■ 曲 目

- I OPENER
- II SUMMERTIME
- III PLEASINGLY PLUMP
- IV IN A MELLOW TONE

## ■ メ ン バ ー

Trumpet	小野悠一(法3)	小川義章(商3)	北川武彦(経4)
(Concert Master)	大泉治(工3)	中川賢二(商3)	Drums 森山建彰(政4)
	武藤清次(商2)	Saxophone 増田賀照(商3)	Piano 若尾竜平(政3)
	赤塚安弘(商2)	北山正巳(政3)	Bass 大地達夫(政2)
Trombone	田村矩祥(法4)	有賀恒夫(文2)	M.C. 橋本和夫(経3)
(Band Leader)	伊津野忠里(法3)	平形忠司(政2)	Manager 北山正巳(政3)



# NEW ORANGE SWING ORCHESTRA (法政大学)



## ■ プロフィール

昭和35年6月スウィングジャズを愛好する同志によって発足し、満6年を数えるに至りました、編成は8プラス、5リード、4リズムと典型的なフルバンドスタイルをとり、更にラテンナンバー演奏時には、強力なラテンセクションを加えております。

レパートリーはスウィングジャズを中心にモダン、ラテン、ポピュラーと巾広くなってきました。

バンドネームのニューオレンジとはスクールカラーにちなんで、常に若々しくはつらつたる意を持って名付けられました。

## ■ 曲 目

- I NON TITLE
- II TICKLE TOE
- III SWEET TOOTH
- IV DELILAH

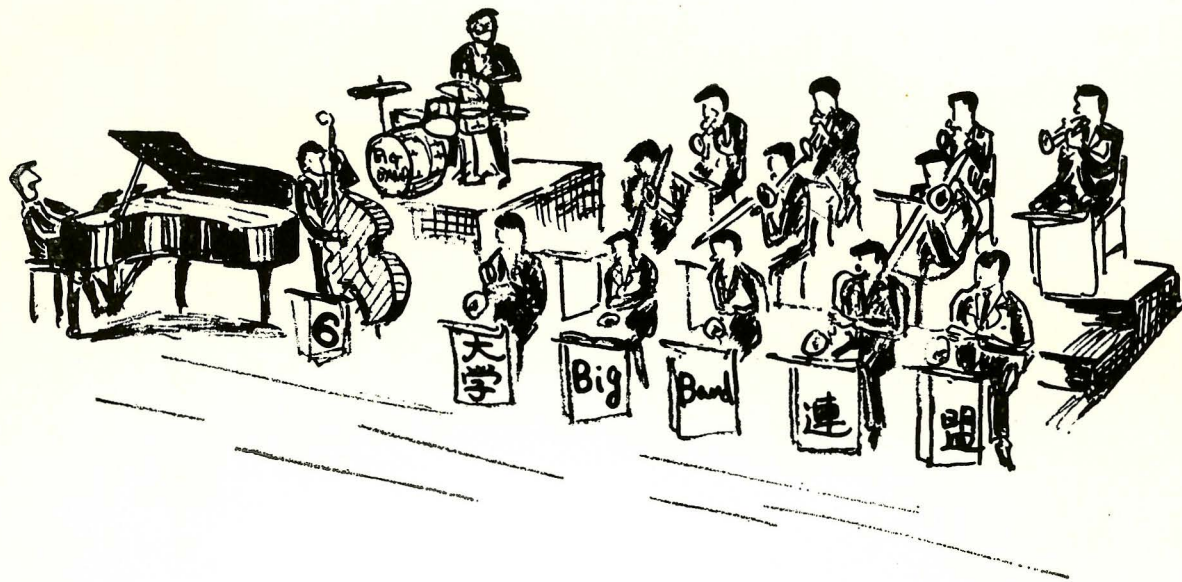
## ■ メ ン バ ー

Saxophone	荒 井 利 夫	蒲 谷 重 光	Bass	佐 久 間 慎 一
	林 攸 章	小 野 和 夫	Piano	坪 田 和 子
	青 野 勝 一	田 上 哲 三	Guitar	黒 田 宏
	平 野 信 行	門 川 久 雄	Latin	藤 原 望
	橋 本 親 夫	平 田 征 邦		長 田 豊
Trombone	仁 多 見 武	松 村 健 一 郎		横 山 慎 一
	二 階 堂 良 一	小 林 隆 昭	Drums	星 善 雄



# PIC-UP BAND

(各 大 学)



## ■ プロフィール

このバンドは、今日演奏する各バンドからそれぞれ、3, 4名をピックアップして編成したもので、原則として、4年生をそのメンバーにしたのですが、尚足りないところは3年生ないし2年生によって補なわれています。

この編成で演奏するまでにはいろいろなことがありました。連盟の会議でも「やろう」「いややめた方がよい」等と議論百出で、もめにもめたあげく、とにかくやって見ようではないかとの方向に決まり、9月10日に第1回の練習をした訳です。ところが一つのバンドの中でさえなかなか全員を揃えるのが大変なのに、寄り集りのバンドでピシッといく訳がなく、何回練習しても全員出席は望めませんでした。それでも皆、何とか時間をやりくりして一生懸命練習し、今日ここにその成果を見ていただくべく初舞台を踏む様な次第です。曲目も比較的高度のテクニックを必要とする様なものがありますので、ところどころ御聞き苦しい点もあるかと思いますがどうか最後までごゆっくり(?)お聞き下さい。

皆様の御高評をお待ちしております。

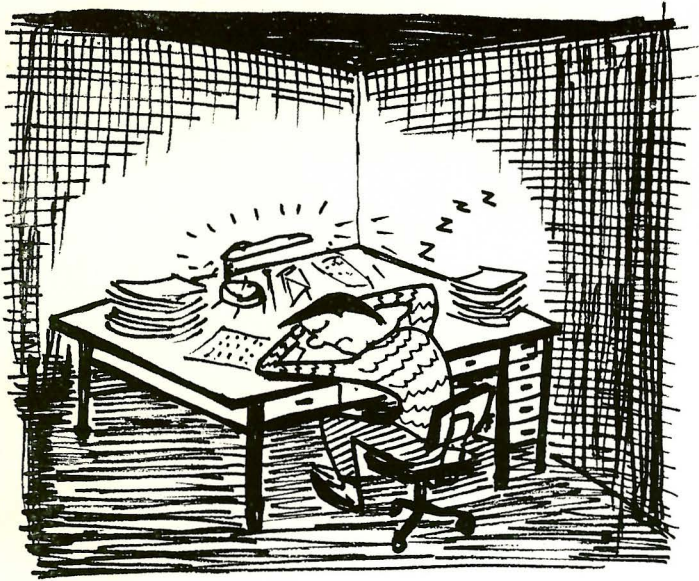
## ■ 曲 目

- I THE JAZZ CONNOISEUR
- II STAR DUST
- III SAY SI SI
- IV DON'T BE THAT WAY

## ■ メンバー

Trumpet	山 地 信太郎 (早大ハイソ)
	大 泉 治 (慶大ライト)
	田 上 哲 三 (法大オレンジ)
	熊 谷 秀 臣 (日大リズム)
Trombone	吉 田 和 弘 (日大クリスタル)
	田 村 矩 祥 (慶大ライト)
	千 賀 泰 洋 (明大ビッグ)
	市 浦 靖 (早大ハイソ)
Saxophone	荒 井 利 夫 (法大オレンジ)
	北 山 正 巳 (慶大ライト)
	佐 藤 和 良 (明大ビッグ)
	大 河 原 三 雄 (中大クリスタル)
	橋 本 親 夫 (法大オレンジ)
Drums	小 林 隆 昭 (法大オレンジ)
Bass	佐 久 間 信 一 (法大オレンジ)
Piano	若 尾 竜 平 (慶大ライト)
Bongo	中 島 章 喜 (日大リズム)
Conga	藤 原 望 (法大オレンジ)





## ■ 編集後記

連盟を作ろうとの提案が出てから丸1年  
今日ようやく 第1回のコンサートを開くま  
でにこぎつけた訳だが なにせ学校の違う者  
同志の集りなだけに不便極まりない想いであ  
った。プログラムの編集等 慣れない事をや  
っている上に 原稿が揃わなかったり 他の  
用事に追いまわされたりで冷汗の連続、しか  
し 皆の協力を得て 期日にも間に合いどう  
やら読めそうなものが出来たのでホッとした。  
明日は土曜日 デートなんぞをしてゆっくり  
とウィークエンドを楽しむことにしよう!

これは失礼 余けいな事だったようで……  
それでは 次のコンサートの日に又御目にか  
かれることを楽しみに……

おやすみなさい

北山正巳





米国キング管楽器日本総代理店  
 独逸ハンス・クルエル木管楽器日本総代理店



# 下倉楽器店

東京都千代田区神保町2ノ2 TEL (263) 3351-3



## オーム印 ダイヤモンド55°針

雑音を完全にシャットアウト！  
 経済的な接合型ダイヤ針に革命が起きたのです。  
 内抱角 55°——オーム技術陣の勝利！

¥ 1,000



### 株式会社 日本蓄針

東京都新宿区戸塚町3-112  
 電話 東京 363-0411 代表



## パロット 66

話題の超・長時間レコード針  
 PAT. 294226

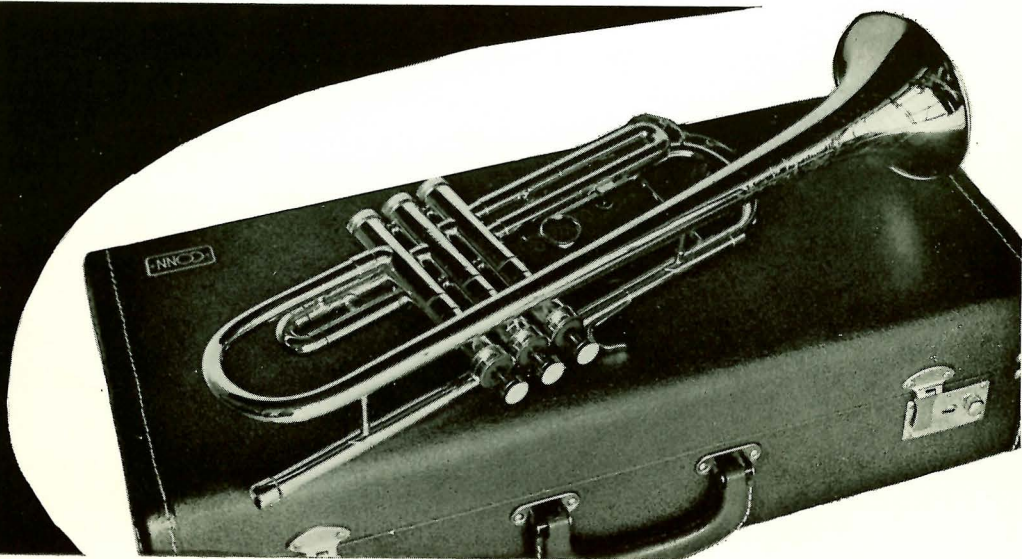
¥ 600

米国コーン管楽器日本総代理店

# 谷口楽器

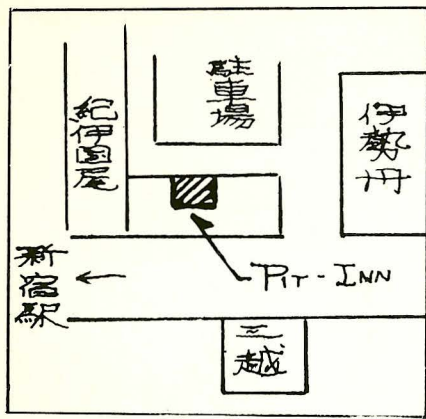
千代田区神田駿河台1の8  
 (明大正門前) TEL(291)2711-3

<カタログ進呈>





モダンジャズクラブ会員募集



金ヨル 渡辺貞夫カルテット

土ヒル 沢田駿吾クインテット 他

日ヨル 山下洋輔カルテット

●日本のジャズを育てよう!

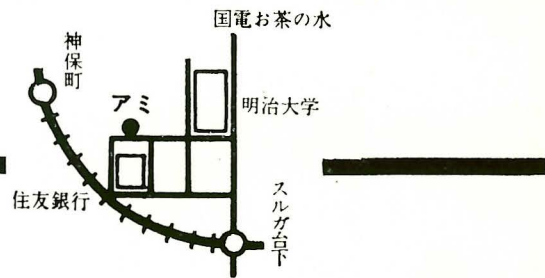
伊勢丹駐車場ウラ  
MODERN JAZZ COFFEE & SNACK  
PIT-INN (352)0383

**ピット・イン**

M J C 会員募集 中



お食事の出来る  
喫茶店!!



駿河台下



エレクトーンステージ

毎夕 5時30分より

CALL(291) 7391・0247

**DIG**

**MODERN JAZZ STEREO**



★新宿店(二幸うら)

★渋谷店(渋谷百軒店)

'67 JAZZ CALENDAR 10月中旬発売



登録の寿司  
**夫婦いなり**

御土産用  
御会合用  
団体折詰  
各種折詰調製  
(都内無料配達致します)

有限会社 喜久家

東京店 千代田区神田小川町1-9  
電話 (294) 5895

春日町店 (後楽園際)文京公会堂トナリ  
電話 (812) 0117

日本橋 三越本店地階売場

MODERN JAZZ

SNACK & DRINK

Cool

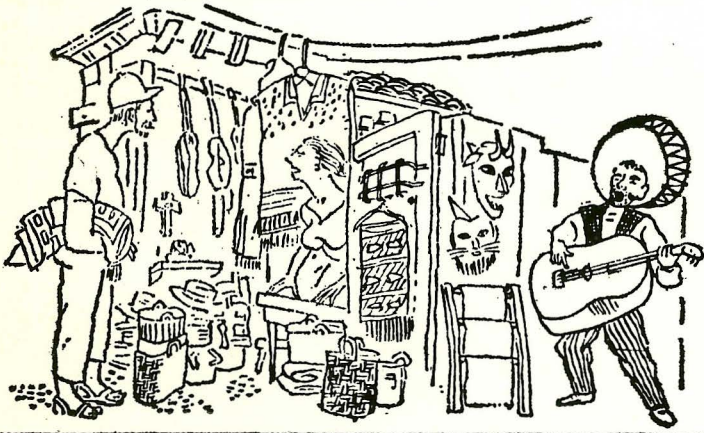
モーニングサービス  
AM 11:30 まで  
コーヒー・トースト・玉子付  
¥70

法政大学陸橋下62年館入口角  
TEL (260) 8164

大衆向中華料理  
**味の店**

富坂電停前 電(811) 0608番

**大和**



ラテン音楽の店  
**アダム**

大阪OSシネラマうら  
361-2382

MODERN in BAR アカシヤ JAZZ

二幸裏口  
TEL 352 6366 6367





# 管楽器修理専門工場

早く / 安く / よい

チョイ直しから  
オーバーホールまでの  
修理は  
技術者揃いの下倉工業へ

管楽器製作・修理・販売  
東京都千代田区神田神保町3ノ13

## 下倉工業株式会社

TEL (262) 1665

● 専門家用五線紙 パート用、スコア用各種・楽譜ファイル・楽譜袋・メモリー・ブック



## 五線紙

東京都台東区上野七丁目7~13 / TEL. 844-6884, 0173 松本楽譜



✦ ハンドバッグ  
✦ カバン  
✦ 旅行バッグ

## バッグ・青木堂

神田須田町交差点・TEL (251) 3023

Charmant

# シャルマン シューズ





気の合う仲間のタマリ場—  
山野の楽器は友情を育てる



とくに金管・木管楽器をおすすめします



音楽のある楽しい暮らし

**山野楽器店**

本店 — 東京都中央区銀座4丁目(567)7331